

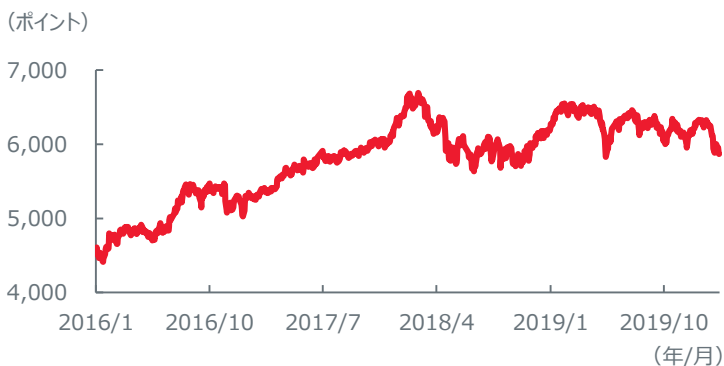
Indonesia Weekly

2020年2月17日



(対象期間：2020/2/3～2020/2/14)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年2月14日)



【株式市場】

週初は、世界的な景気減速に対応するため、ジョコ大統領が早期に予算執行をするよう命じたとの報道や、新型コロナウイルスの新規感染者の減少などが追い風となり上昇しました。しかし、13日に中国当局が新型コロナウイルスの診断基準を見直し、感染者数と死者数の大幅な増加が発表されたことから、感染拡大への懸念が強まり、週後半は下落に転じ、週間では下落となりました。

2020/2/7	2020/2/14	変化率
5,999.61	5,866.95	-2.21%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年2月14日)



【債券市場】

週初、10年国債利回りは上昇（価格は低下）したものの、その後の中国の感染拡大防止措置や景気対策期待などから、リスク選好志向が強まりました。また、国債の入札が引き続き好調であったことも利回りの低下につながったほか、インドネシア中央銀行（BI）が、金融緩和政策の維持や利下げ以外の緩和策について述べたことも好感されました。週間では利回りは低下しました。

2020/2/7	2020/2/14	変化幅
6.584	6.582	-0.002

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年2月14日)



【為替市場】

週初、新型コロナウイルスの感染拡大懸念の後退や、BIによる為替介入、政府による経済支援策への期待などからルピア高となりました。週後半には新型コロナウイルスの感染拡大懸念の再燃や、原油価格の上昇が重荷となりましたが、政府が経常赤字削減と規制緩和を盛り込んだ包括案を議会に提出したことなどが好感され、週間では対米ドル、対円で上昇しました。

2020/2/7	2020/2/14	変化率
0.7991	0.8014	+0.29%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。